

【海洋プラスチックごみをリサイクルするウェーブを起こそうプロジェクト】

海ごみ原料商品のブランド化 再資源化の実証 成果物の紹介

NPO法人木野環境

海ごみ原料商品のブランド化

「オーシャン」ロゴ



① 海ごみ原料のポリ袋

オーシャン・スゴエコ袋【野添産業株式会社】



オーシャン・スゴエコ袋紹介パネル



100%リサイクルのごみ袋

オーシャン・スゴエコ袋



OCEAN

作ったのはこの人たち

野添産業株式会社



私たちが目指すのは、“循環型社会”です

私たちは、地球環境保護を心がけ環境と有資源に配慮し、我が社取扱商品を一方的に販売するのではなく回収し、再生してCO₂の削減及び資源再利用に努力し“循環型社会”をつくることを心がけています。

100%再生原料を利用したスゴエコ袋は、すでに多くのお客様に愛用されています。オーシャン・スゴエコ袋を本格生産していくことで、海ごみ問題にも貢献できると考えています。

地球に、もっともやさしいエコ商品

海ごみを原料にしたオーシャン・スゴエコ袋の開発に成功しました。海ごみと使用済みストレッチフィルムが原料になっています。黒い色は原料のブイなどの色です。プラスチックからプラスチックをリサイクルすると、どうしても樹脂の劣化が製品品質に影響します。海ごみのプラスチックは、すでに劣化しているため、ごみ袋として利用することが重要だと考えています。



野添産業株式会社

〒577-0006
大阪府東大阪市橋本3丁目5番14号



オーシャン・スゴエコ袋【野添産業株式会社】パッケージ

海ごみ削減 & CO₂削減に貢献！！

ECO No.1

OCEAN
スゴエコ袋
Enjoy ecolife

地球に、もっともやさしいごみ袋

日々、海や海岸に漂流する
海洋プラスチック。
それらによる環境への負荷
を少しでも軽減できるよう、
野添産業(株)製の再生原料に
漂流したビイなど海ごみから
精製した再生原料を混合し、
「**オーシャン・スゴエコ**」を新たに開発しました。
各地の海ごみの削減や、CO₂の削減に貢献できる製品です。



NOZOE 野添産業株式会社
INDUSTRY INC.

オーシャン・スゴエコ袋【野添産業株式会社】掲載の新聞記事

野添産業
海ごみ30%のごみ袋を完成
五島から東大阪R企業が資源化
残り70%も再生品

包装資材の装具メーカーの野添産業（大阪府東大阪市、野添一夫社長、☎06・6745・1501）は、海ごみを原料としたごみ袋の完成を報告した。異物混入や劣化したプラスチックを原料化した技術に、2022年に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「舞いあがれ！」は、東大阪（大阪府）と五島（長崎県）が舞台になっていた。五島市役所職員から「毎日、漂着する海ごみをドラマの舞台であるものづくりのまち東大阪で完成させた。残り70%は使用済みストレッチフィルムを利用しているため、100%再生原料製品となる。製品は「オーシャン・スゴエコ袋」と名付けられた。現在、環境配慮を目指してプラスチック製品の原料

大阪で資源化できない「海ごみ・舞いもどれ！プロジェクト」が始まった。

すでにリサイクル原料でのごみ袋を作っていた東大阪市の野添産業に声がかかった。海ごみ解決に貢献できないかと考えていた同社は、すぐに取り組みを開始。試行錯誤の末、五島市などの海ごみを30%混ぜたごみ袋の製造に成功した。

残りの70%は使用済みストレッチフィルムを利用しているため、100%再生原料製品となる。製品は「オーシャン・スゴエコ袋」と名付けられた。現在、環境配慮を目指してプラスチック製品の原料

包装資材の装具メーカーの野添産業（大阪府東大阪市、野添一夫社長、☎06・6745・1501）は、海ごみを原料としたごみ袋の完成を報告した。異物混入や劣化したプラスチックを原料化した技術に、2022年に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「舞いあがれ！」は、東大阪（大阪府）と五島（長崎県）が舞台になっていた。五島市役所職員から「毎日、漂着する海ごみをドラマの舞台であるものづくりのまち東大阪で完成させた。残り70%は使用済みストレッチフィルムを利用しているため、100%再生原料製品となる。製品は「オーシャン・スゴエコ袋」と名付けられた。現在、環境配慮を目指してプラスチック製品の原料



**廃プラスチック処理で
高効率の燃料化**

**お困りのニオイ
解決します!**

臭気対策剤 無料サンプル進呈

デオマジック 検索

シキボウ ☎06-6268-5553



野添産業の「オーシャン・スゴエコ袋」



看板などを制作・設置し、周辺のごみの散乱状況の変化について調べた。その結果、自販機リサイクルボックスを撤去した上で、ごみの散乱を防ぐPOPやボスター、ステッカー、立

自販機リサイクルボックスを撤去することによる散乱状況の変化の検証では、自販機リサイクルボックスを撤去した上で、ごみの散乱を防ぐPOPやボスター、ステッカー、立

み袋を完成。異物混入や劣化したプラスチックを原料化した技術に、2022年に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「舞いあがれ！」は、東大阪（大阪府）と五島（長崎県）が舞台になっていた。五島市役所職員から「毎日、漂着する海ごみをドラマの舞台であるものづくりのまち東大阪で完成させた。残り70%は使用済みストレッチフィルムを利用しているため、100%再生原料製品となる。製品は「オーシャン・スゴエコ袋」と名付けられた。現在、環境配慮を目指してプラスチック製品の原料

大阪で資源化できない「海ごみ・舞いもどれ！プロジェクト」が始まった。

すでにリサイクル原料でのごみ袋を作っていた東大阪市の野添産業に声がかかった。海ごみ解決に貢献できないかと考えていた同社は、すぐに取り組みを開始。試行錯誤の末、五島市などの海ごみを30%混ぜたごみ袋の製造に成功した。

残りの70%は使用済みストレッチフィルムを利用しているため、100%再生原料製品となる。製品は「オーシャン・スゴエコ袋」と名付けられた。現在、環境配慮を目指してプラスチック製品の原料

包装資材の装具メーカーの野添産業（大阪府東大阪市、野添一夫社長、☎06・6745・1501）は、海ごみを原料としたごみ袋の完成を報告した。異物混入や劣化したプラスチックを原料化した技術に、2022年に放送されたNHK朝の連続テレビ小説「舞いあがれ！」は、東大阪（大阪府）と五島（長崎県）が舞台になっていた。五島市役所職員から「毎日、漂着する海ごみをドラマの舞台であるものづくりのまち東大阪で完成させた。残り70%は使用済みストレッチフィルムを利用しているため、100%再生原料製品となる。製品は「オーシャン・スゴエコ袋」と名付けられた。現在、環境配慮を目指してプラスチック製品の原料

2023年6月12日付
「循環経済新聞」

②海ごみ原料の擬木

オーシャン・リプラギ【川瀬産業株式会社】



オーシャン・リプラギ



マテリアルリサイクルの木材代替品

オーシャン・リプラギ



化学の発想で、プラスチックのリサイクルをリードする

オーシャン・リプラギは、海ごみを50%以上配合しています。残りは市民が分別している容器包装プラスチックが原料になっています。木よりも丈夫なリプラギは、建材や擬木として長く利用することができます。産業資材として利用することで、多くの海ごみを原料として消費することができます。海ごみ問題の解決に貢献できると信じています。

作ったのはこの人たち

川瀬産業株式会社



リサイクルを化学する

タンクや廃プラスチックドラムなどからリプラギを生産することで、マテリアルリサイクルや木材使用量の削減に貢献してまいりました。

G20大阪サミットにおけるブルー・オーシャン・ビジョンを受け、海ごみ問題の深刻さを認識し、海ごみの再資源化に挑戦しています。



川瀬産業株式会社

〒507-0071
大阪府貝塚市加神2丁目20番35号



オーシャン・リプラギ【川瀬産業株式会社】チラシ

RePlagi®
リプラギ
Series

オーシャン・リプラギ®

OCEAN
RePlagi

特徴

- 海ごみの再資源化に成功
- 海ごみ原料の回収地
 - ・ 五島列島 (長崎県)
 - ・ 友ヶ島 (和歌山県)
 - ・ 鳥羽 (三重県) など
- 腐らず長寿命で使用可能
- 角材以外のリプラギ®もオーダー可能

海ごみ
チャレンジ

オーシャン・リプラギ®

- 海ごみを原料としたオーシャン・リプラギ®ができました

オーシャン・リプラギ

川瀬産業株式会社は、これまで廃プラスチックのマテリアルリサイクル事業に特化し、リプラギ®の生産を行うことで、森林資源の枯渇防止と二酸化炭素排出削減に貢献してまいりました。

2019年のG20大阪サミットにおいて、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が首脳間で共有されたことを受け、弊社では、海ごみの再資源化に挑戦。

NPO法人木野環境の協力により、海ごみを原料としたオーシャン・リプラギ®の開発に成功しました。

- オーシャン・リプラギ®ができるまで

海ごみ拾い ▶ 選別 ▶ 洗浄 ▶ 成形



海岸に漂着する海ごみ



原料になる海ごみ(パイ)



破碎後の海ごみ

オーシャン・リプラギ® 角材



サイズ(H×W×L)

40×40×3,000



使用例：椅子



「リサイクルを化学する」クリエイティブカンパニー

川瀬産業株式会社

×



NPO 木野環境



オーシャン・リプラギ使用例



天板<原料は海ごみ>
(株)REMARE

「オーシャン・リプラギ」掲載

海岸の漂着ゴミを資源に 再生作品の展示 長崎 五島

06月07日 11時49分

海岸に流れ着いたプラスチックなどの漂着ゴミを資源として再生した作品の展示会が、五島市で開かれています。

この展示会は、プラスチックの調査や分析を行っているNPO法人が海の問題への関心を高めてもらおうと、五島市の鏡瀬ビジタ

ーセンターで開いています。

会場には、全国各地で漂着したゴミを価値のあるものへと蘇らせた作品12点が展示されています。

展示されている作品は、すでに商品化されているものが多く、漂着ゴミのプラスチックを粉砕したものから作ったコースターや椅子、それに靴などが並んでいます。

このほか、NHKの朝の連続テレビ小説「舞いあがれ！」の舞台になった五島市にある高校の呼びかけをきっかけに、五島市や東大阪市の企業などが作ったゴミ袋の試作品なども展示されています。

展示品を見た女性は「海に落ちていたゴミで作ったとは思えないようなデザインで実際に使ってみてみたいと思いました」と話していました。

また、展示品を見た福江島に住む女の子は「アクセサリーがきれいだった。ずっときれいなままの海だったらいいと思う」と話していました。

作品は、五島市の鏡瀬ビジターセンターで11日まで展示されています。



2023/6/7 NHK長崎

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/nagasaki/20230607/5030018092.html>

WTVニュース

News

海ごみアップサイクル展

2023-06-26 (月) 17:47

2023/6/26 テレビ和歌山

海洋プラスチックごみを利用して作った商品の展示会が、和歌山市役所で今日から始まりました。

「海ごみアップサイクル展 in 和歌山」と題したこの展示会は、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト」の一環で、京都市のNPO法人木野環境が企画しました。「毎日流れ着くなら、いっそ資源にしよう！」を合言葉に、協賛した全国15の企業が海洋プラスチックごみを利用して作った雑貨や文房具、時計などの商品を展示しています。また、研究・開発中の商品も一部展示されていて、オーシャン・リプラギと呼ばれる、プラスチックを溶かして木に似せた「擬木」を使った椅子は、和歌山市の友ヶ島に漂着したプラスチックごみが活用されているということです。木野環境の戸倉明子さんは、「海洋ごみが資源だということをまず、知ってもらいたい」と話していました。

この展示会は今月30日まで開かれています。

[海ごみアップサイクル展 | テレビ和歌山
\(tv-wakayama.co.jp\)](https://tv-wakayama.co.jp)

③海ごみ原料のペレット【野添産業株式会社】



④海ごみ原料のスマートフォンケース【大日本印刷株式会社】



海ごみ原料のスマートフォンケース紹介パネル

海ごみアップサイクル展 in 銀座のため特別に製作 スマートフォンケース

松屋銀座のプラスチックごみも使用しました

このスマートフォンケースは、海ごみアップサイクル展を開催するにあたり、様々な企業が出会ったことをきっかけに製作に至りました。松屋銀座で商品等の梱包に使った使用済みのストレッチフィルムやハンガー、愛媛県宇和島市の海ごみ(主にビイ)を野添産業株式会社でペレット化し、大日本印刷株式会社が成型し、完成しました。

作ったのはこの人たち
大日本印刷株式会社
野添産業株式会社

未来のあたりまえをつくる。
DNP
NOZOE 野添産業株式会社
INDUSTRY INC.

ぜひ、手に取ってみてください！
今回製作するにあたり、木野環境は愛媛県宇和海地区漁業協議会主催「瀬戸内オーシャンズX宇和島海岸清掃」に参加し、その場で破砕した破砕品をいただきました。
その過程を見てきた私たちは「海ごみが資源になる」を実感しています。ぜひ、手に取ってご覧になってください。

大日本印刷株式会社
〒162-8001
東京都新宿区市谷加賀町1-1-1

野添産業株式会社
〒577-0006
大阪府東大阪市橋根3丁目5番14号